



亀山7座完登バッジ及び完登証の交付について

亀山市では、7月1日より、「亀山7座トレイル」登山道活用ネットワークの取り組みとして、亀山7座を完登された方に完登バッジ及び完登証を交付します。

亀山7座は、亀山市出身の世界的アルピニストである故尾崎隆氏が、世界の8,000メートル級の14座のうち7座の登頂に成功した偉業にちなみ、市内の標高約700メートル前後の代表的な7つの山々（野登山、仙ヶ岳、臼杵ヶ岳、四方草山、三子山、高畑山、錫杖ヶ岳）を『亀山7座』と選定したものです。

「亀山7座トレイル」登山道活用ネットワークでは、この尾崎氏の功績を後世に継承するため、亀山7座の登山道の整備を行いながら、毎月登山イベントや登山講習会を開催するなど、活用にも取り組んでいます。

また、鈴鹿山脈の美しさを新たな観光資源としても発信しており、市内外からたくさんの方が気軽に登れる山として、トレッキングに訪れています。

完登バッジは、7つの山々と亀山市の頭文字「K」を表現した亀山7座トレイルのロゴがデザインされています。また、台紙は、白基調と緑基調の2種類で、7座の名称と標高が記載されています。

完登バッジ及び完登証は、それぞれ登頂した日を所定の様式に記入し、市へ提出していただくと、一週間程度で交付されます。なお、対象は、本年4月1日以降の登山からとなります。

7月9日には錫杖ヶ岳、8月20日には臼杵ヶ岳での登山イベントも開催を予定していますので、ぜひ、この機会に亀山7座完登に挑戦していただければ幸いです。